



気候危機が
ラテンアメリカ・カリブ地域の
子どもに与える影響

要約



気候変動に対するレジリエンスと 適応を超えて: 変革的な行動が 求められている

気候変動は、ラテンアメリカ・カリブ海地域の人びとの生活のあらゆる面を再定義する体系的脅威である。その影響の大きさには不公平な差がある。女の子・男の子・思春期の若者・ユース、特にユース女性と女の子・先住民・アフリカ系の人・地方にいる人・障害を持つ人は、歴史的不平等に起因した複合的で交差した脆弱性を経験している。しかしながら、これらのグループの人びとは、自分たちの領域のレジリエンスと変革に重要な役割を果たすことができる主体でもある。



幼少期:

- 気候危機は、幼少期の栄養不良・早期の就学終了・家事や労働への早期の従事開始の可能性を高める
- この発達段階に関するエビデンスは限定的であることが多く、そのため既存の政策は子どもを画一的に扱う傾向があり、年齢やジェンダーに応じた対応を調整する能力を阻害している



性と生殖の健康と権利(SRHR):

- 若年・思春期での妊娠や性暴力の発生率が、気候危機の発生後に特に高まる
- 必須サービスと安全なスペースの混乱状態が、医療・保護サービス・SRHRの享受を著しく制限している
- 既に交差的な形態の排除と闘っている女の子とユース女性に対し、それらの障壁は重厚化し不平等に大きな影響を与えている



子どもの保護:

- リソース提供の縮小・必須サービスの混乱・強制避難は、女の子とユース女性が身体的・性的・心理的暴力に遭う可能性を高めている
- 水などの重要リソース獲得のための長距離移動の必要性は、彼女たちが危険に遭う可能性を著しく高めている
- 気候変動の影響は保護と司法制度を損なわせ、統合型ケア・安全な避難所・法的支援・報告の仕組みの安全な利用を妨げ、不処罰状態を常態化させている



包摂的で良質な教育:

- 中途退学率は、重い家事労働・ケア責任・リソース調達作業といった負担や、早すぎる結婚(児童婚)を強いられることが多い女の子の間で、特に高まっている
- その学業の妨害が、不平等の持続と将来の機会の制限を招き、それらがディーセントワーク・重要情報・市民参加の機会の獲得を減少させている

プラン・インターナショナルの戦略的介入分野に気候変動が与える影響

本分析は、気候変動がプラン・インターナショナルのラテンアメリカ・カリブ海地域での重点分野と関連する点を検証し、同地域の主に子ども・思春期の若者・ユース(CAY)の権利の発展とレジリエンスを損なう重要な格差と差別化された影響を特定するものである。



ユースの雇用・起業のためのスキルと機会:

- 経済的損失は、ユース、特に貧困下にいるユースのディーセントワークへの就業と起業の機会を減少させている
- 適応能力と経済的持続可能性の重大な制限は、地域全体で極度の貧困に陥る人びとを急増させる恐れがある
- 介入策なしでは、経済的エンパワーメントとユースの自律性の可能性は重大に損なわれるだろう



変化の担い手としてのCAY:

- ジェンダーに基づく障壁と重いケア責任が、女の子とユース女性の気候変動に対する活動や意思決定の場への有意義な参加を制限している
- 体系的差別と交差する不平等が、彼女たちの政治的なコミュニティの過程への関与を阻害している
- 気候変動対策政策・行動に働きかける彼女たちの能力は、変化の担い手として重要な役割を担っているながらも、今も限定的である

ユースの声を中心に据える: 子どもとユースの視点から見た気候変動の影響

本調査は、ラテンアメリカ・カリブ海地域の思春期の若者とユースの生活・領域を気候変動がいかに根本的に変容させているかに関する、彼らの経験と意見を捉えたものである。2025年6月、対象国10カ国に基づき¹、主に地方部・先住民²・アフリカ系コミュニティの子どもとユースを対象とした、仮想フォーカスグループを形成し調査を実施した。それにより、地域的で交差する不平等という文脈下での気候変動の影響に関し、彼らの世代に特化した多様な視点が必ず反映されるようにしている。

調査結果 1. 自身の身をもって感じる: 気候変動は現実の体験である

「太陽が熱を帯び、匂いが立ち上って...
電車の中ではもう十分に息ができず、
通りも日陰がないので歩けません」

- ユース、ブラジルのフォーカスグループ

思春期の若者は洪水・干ばつ・猛暑・避難・生計手段の喪失と結びつけ、日々直接的に気候変動を実体験している。彼らは気候を擬人化し、感情やジェンダーを付与させて、自身の苦しみや恐怖を表現した。そうした表現は自身の気持ちの明確な描写を可能にするが、気候危機の根底にある体系的要素や制度的説明責任を不明確にさせる危険性を孕んでいる。

調査結果 2. 気候変動 vs 気候

「気候変動には嫌気がさします、時に家を破壊する地震も起きます...時に大量の水が溢れて洪水が起こり、強い風も吹きます。私たちは病気になり、頭痛に苦しみます」

- ユース、フォーカスグループ

気候・気象・自然災害の各概念は区別されないことが多く、それが情報に基づく意思決定や適応策・緩和策の実施を阻んでいる。その区別の欠如は、気候を完全に否定的な存在として捉えることによる気候不安の助長か、または逆に、そうした現象を一般的な自然現象として扱うことによる危険性の認識度の低下につながる。



家族経営の農園でコーヒー豆を収穫する26歳のKaren、ホンジュラス
© Plan International.

調査結果 3. 暴力は私たちの行動を妨げている: 日常的な暴力が気候変動に起因するとは認識されていない

「大人の男性が女の子と関係を持つことがあります...彼女たちの家族を助けるためのお金を渡すのです」

- ユース、ハイチのフォーカスグループ

武力暴力・恐喝・児童搾取は学業と人生の進展を阻害するものだが、それだけではなく、そうした危害の形態がそれらの激化を助長する気候変動の影響と関連付けられることは稀である。地方部地域の女の子はジェンダー・地理的条件・貧困に関する複合的に不利な状況下に置かれているが、統合された政策論の欠如が気候危機と暴力の交差を覆い隠している。

調査結果 4. 生存のための婚姻: 気候変動ショック対応策としての児童婚・ 取引的關係

「仕事がなく、中途退学した友人は、弟妹を助けるためにパートナーと同居することになりました」

- ユース、ペルー・パラグアイのフォーカスグループ

気候変動による経済的損失を経験し、家族の中には児童婚・取引的婚姻を「解決策」として正当化する家族もいる。ユース女性はそうした対処策を「家族支援」の手段として内在化し、合意に基づく判断と認識している場合が多い。その関係は性暴力の常態化・貧困の女性化を深化させ、教育や市民参加の機会の拡大を著しく阻害する。

調査結果 5. 水と月経用ナプキンの不足: 緊急事態下での月経衛生管理とSRHR

「降雨時に飲用水がない場合、私たちは影響を受けます...洗って清潔にしないと感染症にかかってしまうかもしれません」

- ユース、ペルー・パラグアイのフォーカスグループ

洪水・干ばつ・避難は、安全な水・月経用品・SRHR カウンセリングの利用を著しく阻害しており、適切な月経用品の不足は身体的健康と尊厳に重大な影響を及ぼしている。感染症や思春期の若者の妊娠の確率の高まりが確認されていることは、ジェンダーに配慮した人道支援での重大な欠陥を明示している。

調査結果 6. 農・牧草地の水没時にだけ 気候変動の話題が上がる: 気候不正義 という文脈の中の学校

「私のコミュニティの学校は雨季になると浸水します...その後私たちは学校をきれいにしなければいけません...校舎の廊下で死んだ魚を見つけました。干ばつ時も、収穫物を喪失しています」

- ユース、コロンビア・ドミニカ共和国のフォーカスグループ

水不足と洪水によって教育の中断が起き、「失われた通学日」という事例が長引くことで、地方部地域にある学校に甚大な影響を与えている。家事負担は女の子に一層集中し、気候変動に強固なインフラと必須サービスの著しい不備が明るみになった。

調査結果 7. びしょ濡れの制服から慢性的な風邪に至るまで: 欠席と健康

「時に豪雨のため、3日間も学校に行けないことがあり、私は今、気候変動によって風邪をひいて体調を崩しています」

- ユース、ペルー・パラグアイのフォーカスグループ

危機に瀕した生活環境下で降雨に晒されることが、頻繁な欠席と学業面での低下を招いている。長距離移動のための安全な交通手段・予防的健康措置・安全な避難所の確保が急務である。また、降雨が強制的な欠席に伴う不安を引き起こすことが多いため、気候変動の影響と学業不振には明確な関連性が存在する。

調査結果 8. 猛烈な暑さで不安な心が爆発する: 熱ストレスと能力の発揮

「学校の最後の数時間の授業で化学や数学を教わりますが、暑くて当然理解できません」

- ユース、コロンビア・ドミニカ共和国のフォーカスグループ

猛暑によって集中力が損なわれ、学業成績へ影響し、家庭の収入に一層の負担をかけている。社会的「礼儀作法」規範は女の子に不均衡に大きな影響を与え、男の子が「上着」を脱ぐことが許される一方で、彼女たちは衣服を変えずに高温に耐えることを強いられている。教室内に基本的なパッシブ換気やクリーンエネルギー源が欠如していることが多く、家庭は本来必須である室内の冷却と教育継続の間の選択を迫られている。

調査結果 9. 道路が川となる: 学校への通学・接続可能性

「毎日バイクで移動していますが、降雨時は道路が滑りやすくなり、家からの外出と帰宅が大変困難です」

- ユース、エルサルバドルのフォーカスグループ

豪雨と悪路が通学を妨げている。機器へのアクセスと接続環境の不備のため、代替手段としてのオンライン授業の提供が、既存の教育格差をより一層拡大させている。それが、気候変動に強いインフラに対する投資の不平等さと、普遍的な通信環境政策の欠如を露呈している。

調査結果 10. 身の回りのことでなく、ペンギンについて学んでいる: 現地の実情から切り離された教育カリキュラム

「私の学校は、気候変動について教えますが、それが私たちの国や地域にどう影響するかは教えてくれません」

- ユース、コロンビアのフォーカスグループ

気候変動関連の内容は概して一般的で現地との関連性に欠け、学習環境でのユースの主体性を損なわせ、体系的不平等を持続させている。テクノロジーの利用に対するジェンダーバイアスが今も存在し、大人向けの研修への高い需要が生まれている。

調査結果 11. 移住と学業放棄

「アルタ・ベラパスのポロチク川での洪水発生により、川沿いに住む人びとは皆被害を受け、ここへ避難してきました。全学校が閉鎖され、女の子も男の子もはや勉強できなくなりました」

- ユース、グアテマラのフォーカスグループ

漁業と農業からの恩恵縮小が、移住と中途退学を促し、女の子の家庭内負担を増大させている。気候変動に配慮した補償制度や社会保障ネットワークの欠如が、貧困世帯の学業継続を著しく阻害している。

調査結果 12. 不確実な気候下での労働: 労働・ジェンダー・気候正義

「医師である私は、多くの感染症者・栄養失調の子ども・猛暑によるデング熱罹患者に対応することになります」

- ユース、エクアドル・グアテマラのフォーカスグループ

気候危機が労働部門に及ぼす影響は、短期的・長期的にも明らかであり、生産性の低下や健康・必須サービスへの圧迫を起こしている。ジェンダーステレオタイプによって、ユース女性が高収入の技術職や新興のグリーン経済関連職から排除され、構造的な経済格差を継続させている。

調査結果 13. 最も身近な場所の 優先化: ユースのコミュニティ組織

「私たちは学校とコミュニティをみんなと一緒に清掃します...雨で溜水ができるとデング熱の発生につながりますから」

- ユース、ペルー・パラグアイのフォーカスグループ

衛生・健康・相互支援に焦点を当てたコミュニティ組織の取り組みは、差し迫った危険を低減しコミュニティのつながりを強化する。だが、資金提供・正式な意思決定権限の欠如により、ボランティア活動は衰退し、気候変動に対する動きの監督は依然、大人の利害関係者が主導している。

調査結果 14. ユースは企業と当局に 規則と正義を求めている

「彼らは道路の半分を破壊しているため、私は大変憤慨しています。COP30開催のために何千本もの木が伐採されていると同時に、ベレンの周辺地域全体に遥かに重大な環境問題が実際には存在するのです」

- ユース、ブラジルのフォーカスグループ

重大な汚染生産産業の規制・環境に有害な慣行への制裁・気候変動対策の公約遵守を要求する、ユース主導の提案が現れ始めている。優先事項は個人の行動変容から、国家・企業の説明責任へと移行し、環境正義に対する強い要求を促進している。

調査結果 15. つまらない活動では、 何も変わらない: 有意義な関与

「私たちは、スタジアムへ足を運ぶのと同様の動機を見つけ、植林活動を行わなければいけません」

- ユース、エクアドル・グアテマラのフォーカスグループ

気候変動対策は、スポーツ・文化・オンライン活動等のユースの関心事と有意義な関連性を有し、安全上の障壁に対応がなされれば、持続的な効果を発揮する。関与の機会や多様性の認識の欠如が、プログラムからの排除や疎外を招いている。

調査結果 16. プラン・インターナショナルへの要請

「プランはコミュニティへの到着を伝え、私たちとの焼失地域での植樹や花植えの実施を運営すべきです」

- ユース、コロンビアのフォーカスグループ

ユースは、私たちに相談から真の共同関与への転換を求め、公共の提唱活動を推進する地域に対応し、拡大可能な行動に対する、強力な技術的・財政的支援を要請している。恒久的な共同責任プロトコル・「グリーン」予算・ユース主導の監視の仕組み・活動家や発言者に対する差別や危険に対するゼロトレランスを求めている。



女性農家が成功できることを実証しているIris、エルサルバドル
© Plan International.

専門家と支援者の声: 気候変動と子ども・思春期の若者の権利に関する制度的視点

本セクションでは、気候変動が地域全体の女の子・男の子・思春期の若者・ユースの権利に与える影響に関する専門家の分析を提示する。その分析のため、プラン・インターナショナルの技術専門家とコミュニティ主導型開発/子どもの権利/気候変動対策の経験を有する戦略的パートナー組織の代表者31名に対する、半構造化インタビューを実施した。それらの専門家の意見は、気候変動と各テーマ領域の交差性に関する重要な知見を提供し、制度的対応と公共政策枠組みの強化への寄与につながった。



幼少期

「男の子も女の子も... 猛暑によるアレルギーや重篤な呼吸器疾患に苦しんでおり、彼らは危険な水を飲んでます」

- グアテマラ

インタビューから、気候変動が健康・栄養・保護・幼少期の発達といった権利の享受を損なわせている実態が判明した。特に気候変動による災害発生後に、地方部地域・先住民族・アフリカ系のコミュニティで、乳幼児や幼い子どもの感染症・食料不安・暴力に晒される危険度が高まっている。家庭内のストレスと特定データ・早期警報の仕組みの欠如が、必須サービスの混乱と重なり、脆弱性を一層悪化させている一方で、安全で養育的な環境の喪失は、彼らの情緒的・社会的発達に影響を及ぼしている。



SRHR

「緊急事態下で月経は、私たちが分断します... 女の子特有のニーズは、避難所では考慮されていません」

- ドミニカ共和国



子どもの保護

「...彼らは別のルートを取らざるを得ませんでした... それでも恐喝や誘拐、あらゆる暴力行為に晒される羽目になってしまいました」

気候変動は、避難所の過密化・強制避難・経済的圧力・必須サービスの体系的崩壊を招き、女の子・男の子・思春期の若者が暴力に遭う可能性を高めている。緊急事態下で、女の子と女性は、特に地方部地域・先住民族・避難民のコミュニティで、性暴力・搾取・児童婚に遭う可能性が著しく高まる。

気候危機はSRHRの享受に対する障壁を厚くさせ、女の子・思春期の女の子・ユース女性を暴力・望まない妊娠・身体的自律性の喪失といった重大な危険に晒している。気候変動による緊急事態下で、月経衛生管理が不可視化されてしまうことが多く、必須の避妊・妊婦ケアサービスは崩壊し、一時避難所や洪水地域等の安全でない環境下では性暴力が横行する。経済的損失を受けた状況下での生存戦略として、児童婚が再び選択肢として現れ、基本的人権を侵害し体系的な不平等を維持させる取引が一般的なものとなる。

生理的貧困・サービス利用までの物理的距離・母子保健における気候変動に対応したプロトコルの欠如は、脆弱性と影響を著しく深刻化させる。母体保健向けの気候変動に対応したプロトコルの欠如は、特に地方部地域・孤立地域でのそれらの影響を一層悪化させる。公正な気候変動対応は、緊急事態前・中・後に一貫して、SRHR・衛生用品・安全な水・包括的なケア利用手段・強固な法的保護枠組みの継続的な享受を保証しなければならない。



包摂的で良質な教育

「授業は長期間、時には数カ月や1年近くも中断されます」

教育を享受する権利は阻害され、体系的不平等が、特に女の子・地方部地域の子ども・先住民族の子ども・アフリカ系の子どもに対して拡大している。熱波/水不足/脆弱なインフラによる学校閉鎖/授業中断・欠席率の上昇・学力低下・中途退学率上昇を招いている。教師不足・一時的な避難所としての教育施設の利用・通行不能な通学路・デジタル格差が教育の継続性を損なわせている。カリキュラム内容は地域との関連性や気候変動への備えを欠くことが多く、コミュニティのレジリエンスを制限している。学校閉鎖時には女の子のケア責任負担が増大し、中途退学率の高まりや児童婚等の関連する危険に遭う可能性を高める。学業が損なわれると、ディーセントワーク・健康・保護を享受する機会が深刻に制限され、排除と世代を超えた貧困が深化する。



ユースの雇用・起業のためのスキルと機会

「就職に関し、2つの事実があります...都市部の女性は最初に雇用され、先住民族や地方部地域の女性であることは、低賃金や不就業を意味します」

- グアテマラ

気候変動は経済格差を増幅させ、ユース、特に地方部地域・先住民族・アフリカ系のユース、を移住と不安定な雇用へと追い込んでいる。その原因は、訓練機会の不備、資金調達の制限、持続可能な事業に対する社会保護の不十分さにある。コミュニティ主導のグリーンな取り組みは現れ始めたが、依然として断片的で制度的には見過ごされることが多い。ジェンダー・民族的障壁が土地・信用・ディーセントワークへのアクセスを阻み、環境悪化と輸入食品への依存が現地の生産機会を著しく制限している。気候変動への移行が公平に行われるためには、地域および先住民族の知見を統合し、専用の資源と技術支援を保証し、すでに自らのコミュニティ内で協働的かつ持続可能な解決策を開拓している若い女性リーダーをエンパワーメントすることが不可欠である。



変化の担い手としてのCAY

「プロビデンスシアで、女性と女の子は積極的な主体として認識されていました...単なる被害者ではなく」

- コロンビア

ラテンアメリカ・カリブ海地域のユースは、重要な気候変動対策の支持・コミュニティベースのプロセスの主導・自身の権利の行使実現を積極的に要求している。しかし、彼らは安全性・言語・リソース・ジェンダーといった障壁を経験しており、関与と持続可能性が制限されている。多くの運動は外部からの資金提供に依存しており、持続的な支援がなしでは衰退する。また、環境保護活動家は重大な脅威・危険に晒されている。ユースのリーダーシップは特にユース女性とアフリカ系・先住民族・地方部地域のユースに対する、専用の奨学金・包括的保護・言語的包摂、加えて正式な承認が保証されることで強化される。気候変動に応じた移行が、同時に包摂的なユースのリーダーシップとジェンダー正義を特徴とする移行となるためには、これらの基盤条件を保証することが不可欠である。

レジリエンス強化: ラテンアメリカ・カリブ海地域での 事項における戦略的優先事項

ラテンアメリカ・カリブ地域全体のレジリエンス強化には、純粋な技術的な面を超えた、政治的・社会的・世代間の重要要請事項を統合した包括的な戦略的思考が求められる。それは、強力な制度的能力と資金の動員と気候変動対策を長期的で公平で持続可能な解決策へと変革するために、ジェンダー正義と真のユースのリーダーシップに基づく、持続的で権利に基づく対応への意図的な転換が求められるものである。その際、以下の点の理解が不可欠である。

- **レジリエンスは本質的に政治的・社会的・構造的であり、単なる技術的な問題ではない。** それには統合された必須サービス・社会的保護・コミュニティの強固な結束・ユースのリーダーシップが不可欠であり、それらすべては強固で説明責任のある制度により支えられていなければいけない。
- **気候変動は単なる人道的緊急事態として扱われるべきではない。** 反応的で短期的な救済介入策への依存の低減のために、権利に基づく持続的な多部門からの対応が求められる。
- **ユースは変化の主要な担い手である。** アグロエコロジー・再生の取り組み・気候変動教育・循環型経済・戦略的訴訟に関する彼らの提案は、公的政策に公式に組み込まれ、主流化されなければいけない。
- **組織としての一貫性は必須である。** プラン・インターナショナルは内部能力の強化・環境負荷の低減・コミュニティベースの経済活動の優先・専門性を有する実務者との連携拡大をする必要がある。
- **気候変動対策のすべての効果が現れるのには長い時間がかかるが、それらの実行は、緊急性があり変革的な重要事項であることに変わりはない。** ユースが主導・主体する、文化的・領地的に適切な取り組みにリソースを投入して、有効性を保証しなければいけない。
- **子どものための気候変動対応資金は今も不足している。** ジェンダー平等を中心に据えた権利に基づく枠組みの中で、リソースの動員・多部門プロジェクトの設計・説明責任の要求をすることが優先事項である。

資金調達の代替手段

ラテンアメリカ・カリブ地域の子どもとジェンダーに特化した気候変動対策資金は依然、極めて限定的である: 子どもを対象としたのは4%未満で、女の子に割り当てられているのは僅か0.5%である。気候変動対策・ジェンダー公正・子どもの権利を完全に統合し、適応力・コミュニティのレジリエンス・保護を強化する助成金ベースの資金による革新的なモデルを優先したリソースの動員が絶対的に必要である。その実現のため、明確に女の子・男の子・女性へ便益を与えるプロジェクト設計・現地の利害関係者との強固な連携構築・安全性とシードキャピタルの利用可能性を保証し、労働資格認定を伴うユースのグリーンジョブへの就労能力と持続可能な起業能力の強化が推奨される。

気候変動に対するレジリエンスと包摂的な経済移行の機会には以下のような取り組みに存在する: *IDB Lab*・*世界銀行グループのYouth Employment and Green Jobs Trust Fund*・*GIZ Green Jobs*・*EU*・*Horizon Europe*・*Global Gateway*・*Climate and Care Initiative Fund*。

行動喚起

プラン・インターナショナルは強固な基盤と戦略的連携関係を有している。私たちの現在の組織的課題は、その能力を断固たる行動に移すことである。その達成には、内部能力強化・プロセスの適応・専門的連携の深化・レジリエンスの組織の中核的基盤としての主流化が求められる。明確性・緊急性・公正性を指針とした、実現可能な解決策の拡大と高い有効度の維持は、気候危機への倫理的対応を保証し、変革を求め・主導するユースの現在と将来を守ることにつながる。



幼少期

戦略的提言:

気候変動対策政策・ファイナンスにおいて、幼少期を絶対的優先事項として統合し、国・地方行政の適応計画への盛り込みを義務付けること。栄養と幼少期の発達への影響に関する情報の増強・コミュニティベースのケアモデルの拡大・保護的な自然の学習スペースを備えた気候変動に対してレジリエンスを備えるインフラの保証をすること。

CAYの提言:

成長と遊びのための安全な環境を保証し、気候変動の影響から幼い子どもを包括的に守るコミュニティベースのケア・支援制度を実施すること。



養鶏事業の起業を計画している13歳のJuana、グアテマラ
© Plan International.



子どもの保護

戦略的提言:

気候変動と暴力の関連性を子どもの保護制度に統合し、安定したコミュニティと強制避難の両方の文脈における危険の早期特定を強化すること。気候事象と暴力との関連に関する専門職を養成し、適応政策にジェンダーと年齢に配慮したメンタルヘルス・心理社会的支援サービスを含めるよう提唱すること。

CAYの提言:

CAYは、身体的自律性を気候変動に対するレジリエンスの中核的要素として強化するため、安全で秘匿性が保証された医療的・情緒的支援の場・情報の入手可能性・ピア・ツー・ピアによる性の健康のための手法・月経用品のための持続可能なコミュニティベースの仕組みを求めている。

LEAD原則の実践: 子どもとユースの声は、気候変動下での体系的な日々の暴力を明らかにしている。彼らの専門家としての知見と物語を統合させることは、回復的正義への確固たる道筋の構築のために、特に軍事化された地域や採掘地域で必須である。



SRHR

戦略的提言:

気候変動の影響下でのSRHRサービスの継続性と質を保証し、対応策と適応計画へ主流化されること。移動型でコミュニティベースのケアモデルの強化・自律的な供給網とアクセスを保証する、気候変動に対しレジリエントな医療インフラの推進・気候変動に焦点を当て領域の実情に即した予防/性教育キャンペーンの展開をすること。

CAYの提言:

猛暑や緊急事態に対応できるよう、学校インフラを改善すること。危機下での教育の継続性の保証のため、関連教材の配布を保証すること。生徒主導のリスク管理チームを設置し、演劇・学校菜園・気候データ分析プロジェクト等の創造的手法による、コミュニティの気候変動に関する啓発活動を主導させること。

変革的視点: 身体的・生殖的自律性をレジリエンスとして捉える。思春期の女の子を医療制度における政治的テーマとして認識することは、交差する差別に対する正義に根差した気候変動対策の基盤である。



包摂的で良質な教育

戦略的提言:

気候変動に対してレジリエントな学校インフラと安全な水・クリーンエネルギーへのアクセスを確実にし、気候変動関連事象下でも教育を享受する権利を保障すること。気候正義・先住民族/地域の知恵・生徒の関与をカリキュラムに統合させ、教育警報・予測制度を強化すること。また、悪天候時に最も障壁を経験する学習者を重視し、授業継続を保障するための持続的な支援を提供すること。

CAYの提言:

気候変動に重点を置いた職業訓練指導を実施し、コミュニティの庭と監視設備を備えた実験学校を設立すること。異文化間メンター制度を推進し、グリーン経済のための奨学金を提供すること。気候変動へのレジリエンス強化には経済的自律性と、学びと有意義な関与のための自由時間が根本的に必要であることを強調し、ケア責任負担の分担見直しを促す行動を実行すること。

教育学的手法: CAYが、討論演劇・気候データ実験室・学校アグロエコロジー庭園等、他のユース向けに革新的で関連する教育手法を推進すること。



ユースの雇用・起業のためのスキルと機会

戦略的提言:

気候変動対策を推進するため、ユースの能力強化とグリーンジョブでの雇用と直接結びつけ、再生可能エネルギー・再生農業・循環型経済モデル・環境監督に関する研修を提供すること。持続可能な事業のインキュベーションを促進し、労働認定・保険・シードキャピタルの獲得可能性を保障するとともに、地方政府や国際金融パートナーと連携し、グリーン分野でのユース雇用促進策を調整すること。

CAYの提言:

気候変動に重きを置いた職業訓練指導の設計のため、コミュニティの庭と監視設備を備えた実験学校の設立・異文化間メンター制度の推進・ジェンダー公平を重視した手法による、グリーン経済分野に特化した奨学金とインターンシップ制度の創設・ケア責任負担の分担見直しキャンペーンの展開をすること。気候変動に対するレジリエンスには経済的自律性と、学びと有意義な関与のための自由時間が根本的に必要であることを強調すること。

ユースの経済的正義: 思春期の若者は気候変動に対するレジリエンスを経済的自律性と自由時間の配分と結びつけている。ケア労働を不可視であるままにしてはならず、分配は見直さなければいけない。



変化の担い手としてのCAY

戦略的提言:

ユースの気候変動に対するリーダーシップの発揮を基本的権利として認め、気候変動に対する動きの監督への有意義な関与のための恒久的で安全なスペースを設けること。ジェンダー・文化・障害・領域に焦点を当てた包摂的手法を推進し、環境保護活動家への包括的な保護を保障すること。森林再生・水管理・環境教育に関するユースのコミュニティでの取り組みを支援し、それらを規範的枠組みと予算に正式に組み込むようにすること。

CAYの提言:

独立した予算を持つユース委員会を設置し、デジタルツールの研修の提供・奨学金制度付き森林再生プログラムの拡大・関連する意思決定機関への投票権の保有と参加をできるようにすること。メンター制度と提唱プログラムを開始し、形式的な協議から、ユースが自身の地域の気候変動に対する行動を決定・監督・主導できる、真の共同参加への転換を要求すること。

政治的変革: ユースは参加の許可を求めている。彼らは積極的に、意思決定の場に参加・提案・監督する権利を求めている。プラン・インターナショナルは彼らの関与の促進・活動の場の保護・声を増幅させることができる。

戦略的結論

ラテンアメリカ・カリブ海地域での気候危機への対応において、レジリエンス構築は今も最も強固で持続可能な道筋である。プラン・インターナショナルにとって、この使命は、影響を最も受けているコミュニティへの責任転嫁を積極的に回避しつつ、必須サービスの保証・安全な環境の確保・強固なコミュニティ結束の構築・有意義なユースの関与の実現・説明責任を有する制度的枠組みの確立を必要とする。蓄積された専門知識と連携関係により、コミュニティ組織の活動・政治的提唱活動・ユース、特に女の子とユース女性のための包摂的なグリーンジョブでの雇用機会創出を統合した、変革的な気候変動への取り組みへの進展が可能となる。その考えを実現のものにするためには、専用の気候ファイナンスの動員・内部能力の強化・自然/領地ベースの解決策を優先した、現地の利害関係者との緊密な連携が必須である。一貫性と正義に導かれた断固たる行動を今実施することこそが、同地域の子どもの現在と将来を守るのだ。



家族と共に山岳地帯に住んでいる19歳のLaurita、エクアドル
© Plan International.



Until we are all equal

プラン・インターナショナルについて

プラン・インターナショナルは、子どもの権利を推進し、誰もが平等な世界の実現を目指し85年以上にわたり世界80カ国以上で活動する国際NGOです。一人ひとりの子どもが本来持つ力を引き出すことで地域社会に前向きな変化をもたらされることを信じて、子どもや若者、さまざまなステークホルダーとともに活動しています。特に、貧困や暴力、差別や排除によって弱い立場に置かれている女の子の支援に力を入れています。子どもや女の子たちが直面している不平等を生む原因を明らかにし、その解決にむけ取り組むことで、子どもたちが生まれてから大人になるまで寄り添い、自らの力で困難や逆境を乗り越えることができるよう支援します。

誰もが平等な世界の実現にむけて、歩みを止めずに進んでいきます。

表紙写真: 小さな先住民コミュニティ出身の16歳のNorma、グアテマラ
© Plan International.

本報告書に掲載されている写真は、実施された調査の参加者を写したものではない。

プラン・インターナショナル

ラテンアメリカ・カリブ海地域事務所

 plan-americas.org

 facebook.com/planamericas

 twitter.com/planamericas

 instagram.com/planamericas

 linkedin.com/company/planinternational-America

 youtube.com/user/planamericas